

株主のみなさまへ

第26期報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社トランスジェニック

証券コード 2342



一人ひとりの健康と豊かな暮らしの実現をめざして



株主の皆様へ

ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第26期の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。当社は、「未来に資するとともに、世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」ことを目指しております。

当事業年度におきましては、創薬支援事業の非臨床試験受託事業における事業運営体制のさらなる強化を目的として非臨床試験受託事業の動物研究施設の集約を実施し、さらにグループ再編の完結ステージとして、2024年10月1日(予定)に(株)新薬リサーチセンター(以下、「新薬リサーチセンター」と)と(株)安評センター(以下、「安評センター」)を統合する準備を進めております。

以上のとおり、当事業年度は、強固な利益体質を構築し、中長期的な収益基盤の拡大を図るべく施策を実行してまいりました。そして、新たな事業年度において、新生トランスジェニックとしてグループ一丸となって結果を出す所存です。

株主の皆様におかれましては、当社の取り組みにご理解をいただき、なお一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年6月
代表取締役社長 福永健司

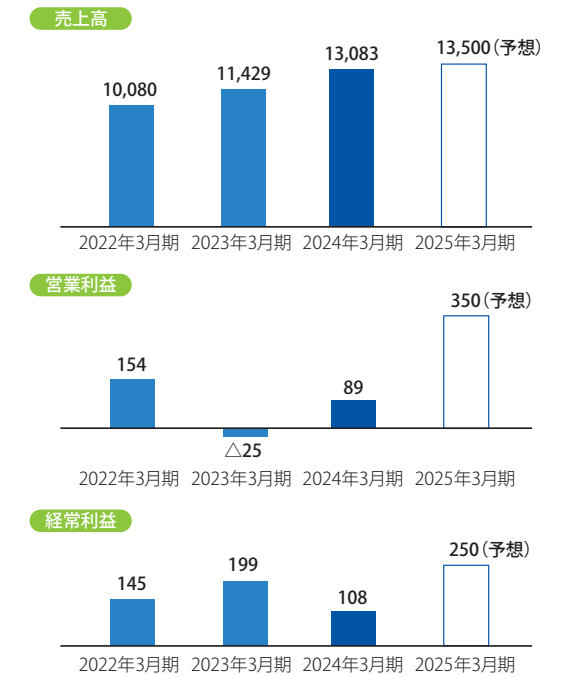
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和に伴うインバウンド需要の増加や賃金引上げにより緩やかな回復基調が見られましたが、円安を基調とした急激な為替の変動やエネルギー・原材料価格の高騰が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、創薬支援事業は、新薬リサーチセンターの中央研究所(北海道恵庭市)の非臨床試験受託事業について、安評センターへ集約を行うことを2023年4月に決定いたしました。この決定に伴い、中央研究所の主要施設である動物試験施設については既受注試験終了後に計画通り稼働を停止した結果、新薬リサーチセンターの売上高は前期比で減少いたしました。一方、安評センターは、海外からの遺伝毒性試験の好調な受注獲得を背景に受託試験の案件数は増え、売上高も前期比で増加いたしました。より高収益な事業体への転換を図るため、中期発がん性試験などの高付加価値・差別化可能な新規サービスの導入や既存サービスの即戦力となる人員補強及び施設の拡充を積極的に進めたため、これらの先行投資に係る費用負担が生じました。

投資・コンサルティング事業につきましても、(株)TGMにおいて大型受注案件が完了したほか、その他の子会社においても円安を背景とする物価上昇を受けた販売価格の改定及び営業力の強化を進めたことで、前期比で大幅な増収・増益となりました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は13,083百万円(前期比14.5%増)となり、営業損益につきましても89百万円の利益(前期は25百万円の損失)となりました。また、経常利益につきましても、108百万円(前期比45.6%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、4百万円の利益(前期は409百万円の損失)となりました。

◆第26期連結累計期間の業績 単位:百万円



※2022年の業績については、2022年1月に譲渡した診断解析事業を除外しています。

第26期定時株主総会 決議のお知らせ

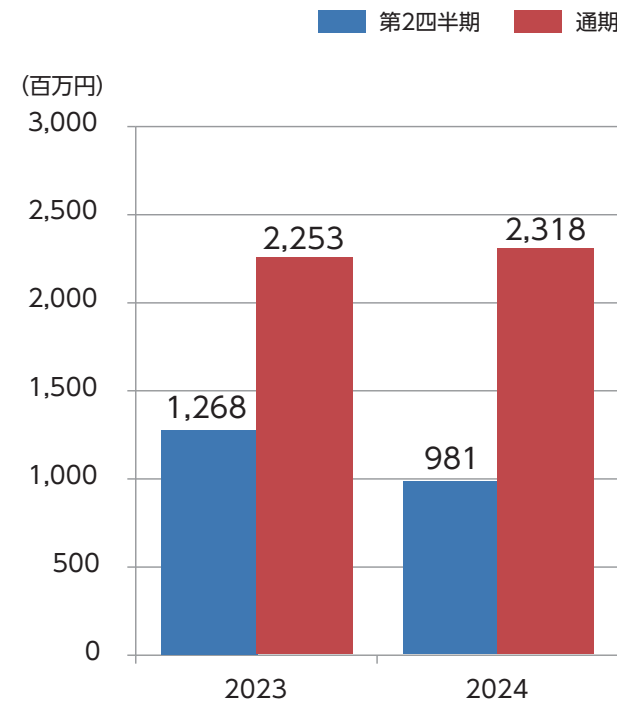
拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
当社第26期定時株主総会におきまして、右記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。
敬 具

- 報告事項
 1. 第26期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
 2. 第26期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。
- 決議事項
 - 第1号議案 剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
 - 第2号議案 定款一部変更の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
 - 第3号議案 取締役2名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、取締役が高島浩二氏、冨田昭仁氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
 - 第4号議案 監査役3名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、監査役に友永良二氏、佐藤貴夫氏、本坊正文氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
 - 第5号議案 取締役(社外取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬改定の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

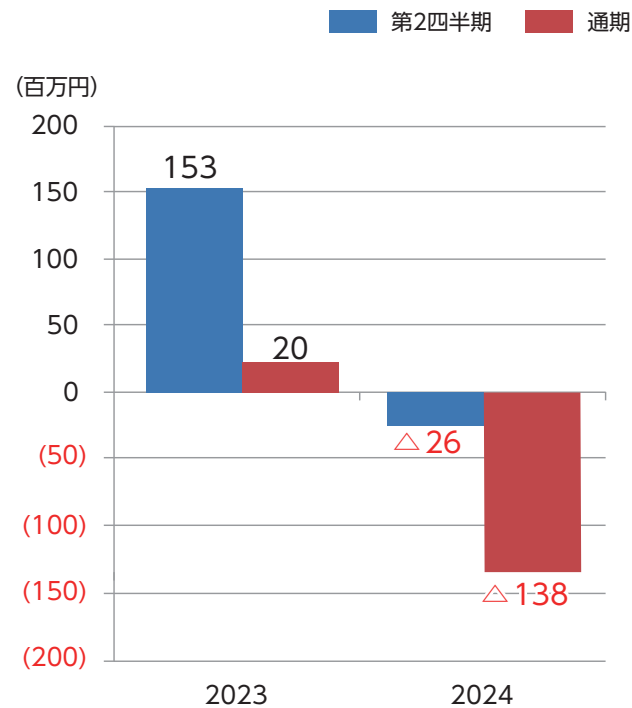
創薬支援事業

- 売上高：豊富な期首繰越受注残及び遺伝毒性試験受託の好調等もあり非臨床試験事業は増収なるも、臨床試験事業の苦戦により全体では微増。
- 営業損益：受注拡大に向けた(株)安評センターにおける即戦力人員の獲得や設備投資等の先行投資負担、及び高収益体質転換を目的とする研究開発投資の増加により減益。

売上高



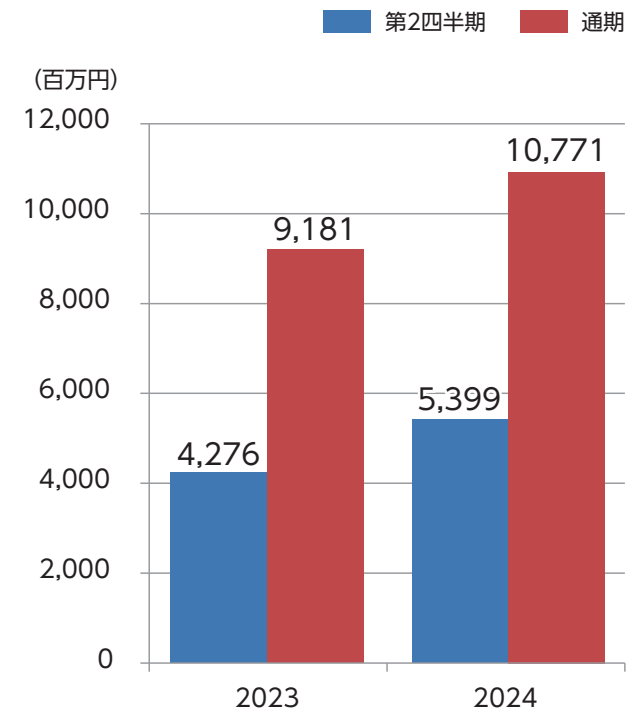
営業利益



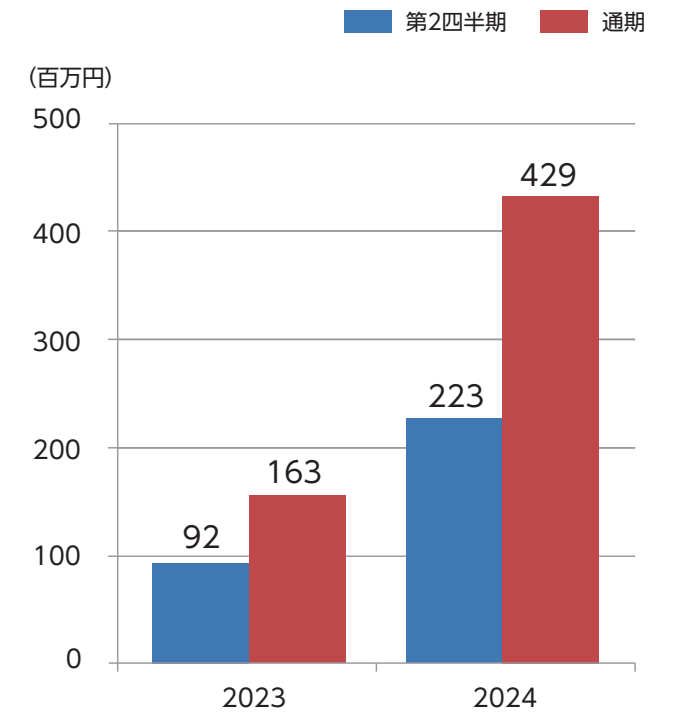
投資・コンサルティング事業

- 売上高：(株)TGMを中心に商社事業が大きく売上高を伸ばし大幅増収。
- 営業損益：大幅な増収と円安・物価高を背景とした価格改定を進めた結果、大幅増益。

売上高



営業利益



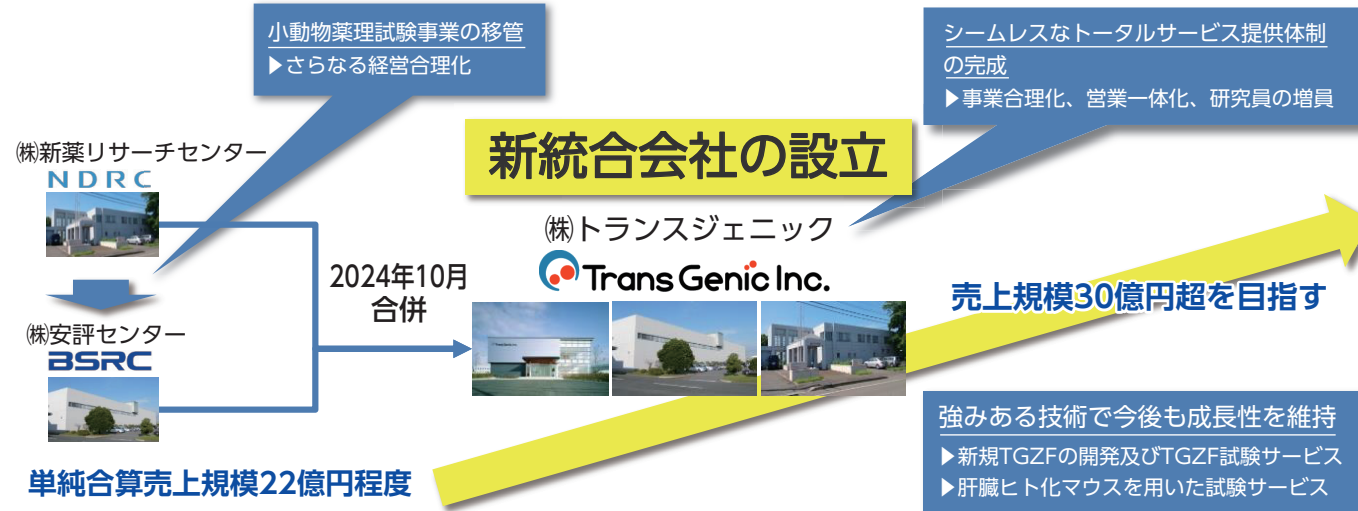
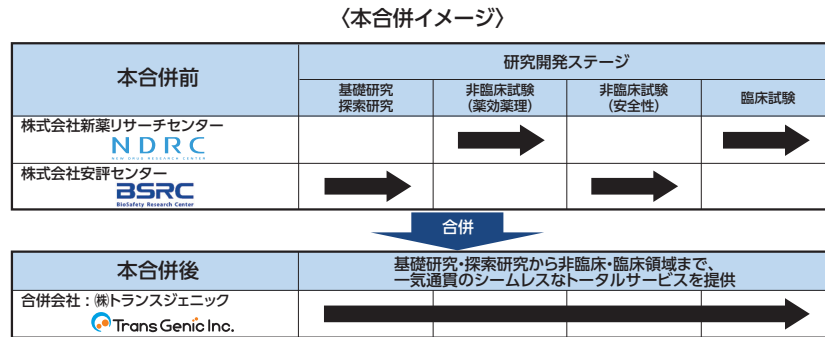
●創薬支援事業グループの再編

～(株)新薬リサーチセンターと(株)安評センターとの経営統合～

(経営統合の目的、及び背景)

- ▶ 当社は、遺伝子改変マウス事業を基幹とする大学発ベンチャーであったが、事業構造強化・事業領域拡大を目的として、過去10年間に亘り積極的にCRO事業のM&Aを実行。
- ▶ (株)新薬リサーチセンターにおける(株)安評センターの子会社化もその一環であり、下図の通り、各社、異なる研究開発ステージにおけるサービスに強みを持っている。
- ▶ 本経営統合により、経営資源集約を通じた事業運営の効率化、及び営業の強化を実現するとともに、シームレスなトータルサービスが提供可能な、強い競争力を有する中核会社を設立し、企業価値の最大化を図る。
- ▶ 強い経営基盤を武器に、TGR試験*に続く高付加価値サービスの導入・開発を強化し、高収益体質の企業体への転換を図る。

*トランスジェニック動物を用いた遺伝子突然変異試験



●高収益事業体への転換を図るための施策及び研究開発

項目	目的	進捗状況
中期発がん性試験*1の導入	発がん性関連領域における需要が高い技術・サービスを他社に先んじて導入し、迅速に市場優位性の確立を目指す。	2024年3月から、受託サービス開始。
TGZF*2を用いた(株)安評センターとアンジェス(株)との共同研究開発	アンジェス(株)は開発候補の薬剤及び炎症に関連する既市販薬剤を投与しTGZFモデルの有用性を検証し、(株)安評センターは確立したTGZFモデルを用いた次世代創薬スクリーニングサービスを展開する。	アンジェス(株)と開発したTGZFモデルの有用性について、データ検証中。
肝臓ヒト化マウス	差別化可能な高付加価値サービスとして、ヒトの肝臓機能が反映されたマウスを用いた、薬剤の効果や代謝などの非臨床実験を提供することで高収益体質への転換を図る。	当該マウスを用いた非臨床試験受託サービス開始に向け準備中。

※1 長期がん原性試験代替法として推奨され、また厚生労働省の「医薬品のがん原性試験に関するガイドライン」にも「がん原性検出のためのin vivo追加試験」として明記されています。

※2 TGZF(トランスジェニックゼブラフィッシュ)は、ヒトとの疾患ゲノム類似性が約80%など、人への外挿性が高く、スクリーニングが簡単なことから非臨床試験において代替法として需要が高まっており、TGZFモデルは、薬剤に対する反応性の確認に有効であると期待されています。

会社概要 2024年3月31日現在

会社名 株式会社トランスジェニック
設立 1998年4月
資本金 50百万円
従業員数 6名(単体) 236名(連結)
事業所
本社 福岡県福岡市中央区天神二丁目3番36号
東京オフィス 東京都千代田区有楽町一丁目7番1号

役員
代表取締役社長 福永 健司 常勤監査役 友永 良二
取締役 北島 俊一 監査役 佐藤 貴夫
取締役 船橋 泰 監査役 本坊 正文
取締役 渡部 一夫
社外取締役 清藤 勉
社外取締役 斎藤 穂高

株式の状況 2024年3月31日現在

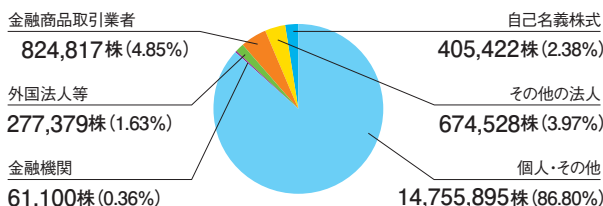
発行可能株式総数 43,630,100株
発行済株式の総数 16,999,141株
株主数 12,256名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	497,848	3.00
藤井 正樹	173,000	1.04
福永 健司	170,500	1.02
株式会社ムトウ	160,200	0.96
株式会社リムジンインタナショナル	152,900	0.92
原田 育生	150,000	0.90
水越 敦	136,900	0.82
J.P.Morgan Securities plc	127,800	0.77
山崎 学	120,700	0.72
平川 徹	106,300	0.64

(注) 1. 自己株式を405,422株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



株主メモ

証券コード 2342
上場市場 東京証券取引所 グロース市場
上場年月日 2002年12月10日
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

IRのお知らせ

最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールでお知らせしています。ご登録は当社ホームページにて受け付けています。

<https://www.transgenic.co.jp/>

当社のIR活動についてご意見・ご感想をお聞かせください。
下記アドレスへのご連絡をお待ちしております

ir@transgenic.co.jp

